

自分と大切な人の命を守りましょう! 「3密」(密集、密接、密閉)を避けて、うがい、手洗いを忘れずに!



たけだまさみつ 県議会レポート

“ふるさとちば”のための政策推進を



発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

2月県議会予算委員会質疑

令和4年3月4日に登壇いたしました。その質問と答弁についてまとめました。



2月24日のロシアによるウクライナへの軍事侵略を受けて、28日には千葉県議会の全会一致で決議を行いました。私ただ正光も、ちば自民党政務調査会副会長として各会派の同意を取り付けるべく説明をしてみました。

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

我が国は、ウクライナの民主化・自由化を推進し、地域の平和と安定に寄与するために国際社会と協調しつつ、同国に対する支援を行ってきた。そうした中、国際社会の懸命な努力にもかかわらず、2月24日にロシア軍がウクライナへの侵略を開始した。

ロシア軍による侵略は、同国の主権及び領土の一体性への侵害、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、力による一方的な現状変更を認めないという国際秩序の根幹を脅かすもので、断じて許されず、厳しく非難する。

国においては、G7をはじめとする国際社会と連携し、あらゆる外交手段を駆使して、軍の即時撤収と速やかな平和の実現に全力を尽くすことを強く要請する。

さらに、在留邦人の安全確保に取り組むとともに、国民生活への影響を最小限に抑えることを併せて要請する。

以上、決議する。

令和4年2月28日 千葉県議会

TX沿線土地区画整理事業について

Q 運動公園周辺地区の進捗状況はどうか。

A 高橋都市整備局長

令和3年4月に2号調整池の暫定供用を開始し、更に6月には都市計画道路野々下思井線の一部を供用開始したところであり、本年度末の進捗率は、事業費ベースで約66パーセントを見込んでいます。

また、令和2年3月に地区南部の緑地保全の範囲を拡大する事業計画変更を行い、一部の街区形状が変更となったことから、現在当該地区の仮換地指定を進めており、併せて詳細な整備時期の検討を行っているところです。

Q 令和11年度事業完了に向け、地区南部の整備をどのように進めていくのか。

A 高橋都市整備局長

今後は、残る都市計画道路や2号調整池の完成に向けた整備を進めるとともに、引き続き、雨水管の埋設工事を進めながら、宅地造成を推進していきます。

また3月下旬に予定している地元説明会で地区全体の整備展開を説明したうえで、その後、自治会単位の説明会や地権者への個別訪問等により、個々の整備時期を説明してまいります。

要望等

この地権者との良好な関係構築に努めて頂きたい。事業スケジュールなども地元と情報共有しつつ、令和11年度の施行期間内に着実に事業完了して頂くよう、重ねて要望します。とにかくこれからスピードアップして頂きたい。

(仮称)三郷流山橋について

Q (仮称)三郷流山橋を含む県道越谷流山線バイパスの進捗状況はどうか。

A 池口県土整備部長

この道路は、大部分が橋梁となっており、下部工25基のうち、21基が完成し、残る4基についても、今年度末(令和4年3月末)に完成予定。上部工については下部工が完成した箇所から、順次工事を進めています。

Q 供用開始に向けた、今後の見通しはどうか。

A 池口県土整備部長

来年度(令和4年度)は、高欄など橋梁付属物の工事や道路改良工事など、供用に向け、全線に渡り事業を展開予定。引き続き令和4年度中の完成を目指し、埼玉県及び埼玉県道路公社と連携し、地元流山市の協力を得ながら、事業を推進してまいります。

要望等

令和5年春の開通を予定しているとのことで、工事もクライマックスです。(仮称)三郷流山橋について議会で取り上げるのは、平成19年の私の初当選以来24回目であり、精一杯の訴えをしてきたと自負しています。

そして流山市から橋を渡っても、埼玉県側の道路が未整備だと、この橋の効果も半減してしまいます。対岸の埼玉県側の県道整備とも連携し、早期完成するよう要望します。

県立市野谷の森公園について

Q 1期区域の供用開始に向けた見通しはどうか。

A 高橋都市整備局長

県立市野谷の森公園の1期区域では、今年度、多目的広場の整備や植栽などを行っており、今月末(令和4年3月末)の供用開始を予定しています。

Q 2期区域の整備をどのように進めていくのか。

A 高橋都市整備局長

本年1月に認可された2期区域の事業計画では、貴重な動植物のための樹林地の保全や、自然とのふれあいの場の創設などを旨とし、令和12年度までに観察舎や散策路などを整備する予定としています。今後は樹林地の保全のため、まずは用地買収を行い、その後公園施設の整備を進めていく予定です。



最新映像をたけだ正光チャンネルにアップしております。



要望等

市野谷の森公園の早期完成は、流山市民を始め多くの県民が待ち望んでおり、2期区域の整備についても積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。



上部工の工事が進む江戸川渡河部

最新映像をたけだ正光チャンネルにアップしております。



児童虐待について

全国で児童虐待死事件が後を絶ちません。嘆かわしく腹立たしい。亡くなられた児童の人生は短くても、決して辛く苦しいことばかりではなかったと信じたいです。

そして千葉県野田市で発生した女児虐待死事件から3年が経ちました。この事件は、平成27年に自民党内に児童虐待防止対策プロジェクトチーム発足、研究を重ね、平成28年12月に全国に先駆けて「千葉県子どもを虐待から守る条例」を議員発議により制定し、児童虐待防止に全力で取り組んでいた最中の平成31年に起きた事件であり、落胆失望するとともに更なる対策強化の必要性を強く感じたところです。

事件を受け、「しつけに際しての体罰の禁止」を新たに盛り込むなどの対策の充実・強化を図るための条例改正をしました。受けて県は、条例に基づき策定された「千葉県子どもを虐待から守る基本計画」について、内容を全面的に見直し、令和2年6月に改めて策定しました。

新たな計画は、「児童虐待の防止に向けた取組」、「家庭的養育の推進に向けた取組」、「児童相談所の強化に向けた取組」の3つの柱で構成されており、計画の進捗を図る指標として26項目の目標が設定されています。

計画に位置付けられた各種施策が、順調に進んでいるか否かを確認するとともに、必要な見直しと改善を次なる施策展開に反映させることが重要です。そこで伺います。



熊谷知事との質疑応答

Q 「千葉県子どもを虐待から守る基本計画」の進捗について、令和2年度の実績として順調に進んでいるものの主なものは何か。

A 加瀬健康福祉部長
計画で設定した目標は26項目であり、そのうち、令和2年度の実績として順調に進んでいるもの、達成したものは15項目です。その主なものは、里親等委託率の向上、里親登録者数の増加、新たな民間の児童養護施設の整備、児童相談所の増設や建替えなどです。

Q 目標を達成できなかったものは何か。

A 加瀬健康福祉部長
令和2年度の実績として、達成できなかったものは4項目。具体的には、
・児童虐待による死亡事例を発生させないこと
・全ての市町村が子育て世代包括支援センターを設置すること
・児童養護施設等における虐待を発生させないこと
・一時保護所の保護人数の定員超過

Q 目標を達成できなかったものについて、課題は何か。

A 加瀬健康福祉部長
児童虐待による死亡事例については、市町村が設置する要保護児童対策地域協議会の機能強化と、母子保健等を含む関係職員の理解と専門性の向上などが課題だと認識しています。
子育て世代包括支援センターについては、事務手続きの遅延により未設置だった1自治体も含め、昨年10月に全市町村で設置されたところです。
児童養護施設等における虐待については、発生防止に向けた施設職員等の養育技術の向上や子どもの権利擁護の意識徹底が課題となっています。
一時保護所については、56名の定員増を行いました。一人あたりの保護日数の長期化等により、定員超過を解消できませんでした。

Q 課題を踏まえ、今後どのように取り組むのか。

A 熊谷知事
児童虐待への対応は、市町村の役割が大変重要であることから、専門家の派遣や実践的な研修などにより対応力の向上を支援し、死亡事例を防ぐほか、子育て世代包括支援センターの機能が十分に発揮されるよう、人材の育成に取り組んでまいります。
また、児童養護施設等における虐待防止に向けて、養育技術の向上等を図る研修の実施や、児童相談所による定期的な訪問を実施するとともに、一時保護日

数の長期化の解消に向けて、社会的養護の受け皿の整備などを進めます。
県として、引き続き市町村に対し、人材面、予算面を含めた支援を行うとともに、連携して児童虐待防止に取り組んでまいります。

要望等

計画で定めた26項目の目標のうち15項目が順調に進捗しているとのことでした。里親制度の推進や新たな民間児童養護施設の整備、また、児童相談所の体制強化など、重要な施策が順調に進んでいることが確認できました。執行部においては、引き続きしっかりと取り組んでいただきたい。

一方で、目標を達成できなかった目標が4項目あったとのこと。
特に市町村の所管するケースであったとはいえ、県と市町村が連携して児童虐待対応に全力で取り組んでいる中、「児童虐待による死亡事例」の項目が達成できなかったことは大変残念です。

県は、引き続き市町村の虐待対応力向上の支援に取り組んでいただくとともに、市町村と児童相談所の人事交流を進めることは、双方の連携強化とスキルアップに資することと考えますので、市町村と児童相談所の人事交流に積極的に取り組んでいただくよう要望します。

事業承継支援について

Q 企業の事業承継への支援について、県の取組状況はどうか。

A 高橋商工労働部長
県では、事業承継を支援するため、千葉県産業振興センターに中小企業診断士等の専門家を配置いたしまして、相談対応を行っております。
その上で、承継に向けた具体的な手続きに進む企業につきましては、専門機関である事業承継・引継ぎ支援センターによる継続的な支援に繋げております。
さらに、プッシュ型の支援といたしまして、専門家が直接企業を訪問して、事業承継への意識付けや助言を行う緊急対策事業を、一昨年から集中的に実施しているところです。
今年度はこれまでに4,000件を超える訪問を実施いたしましたところであり、来年度も4,500万円の予算を確保したところです。

要望等

県としては、様々な取組をされていることと承知しましたが、まだまだ準備が進んでいない企業が多いと思います。各企業が、事業承継を進める上で、しっかりとメリットが感じられるような助言を行うなど、多角的な視野を持ち、親身になっての支援をお願いします。

商工会議所等への支援強化について

Q 中小企業・小規模事業者支援に大きな役割を担っている商工会議所・商工会に対する支援を強化すべきではないか。

A 高橋商工労働部長
商工会議所・商工会は、中小企業及び小規模事業者にとって身近な支援機関であり、これまでも県と緊密に連携して、地域経済の主要な担い手である中小企業等の振興を図ってきたところです。
昨今の相次ぐ台風等の自然災害や長引く感染症に加え、デジタル化などの社会経済環境の変化等を受けて、中小企業等の経営は厳しさを増しており、商工会議所等の役割はさらに重要になっています。
県としては、引き続き、商工会議所等が積極的に中小企業の支援を行えますよう取り組んでまいります。

要望等

社会経済情勢が激変している今だからこそ、商工会議所等の活動の充実を図ることが重要であることから、「小規模事業経営支援事業費等補助金」など県の支援を強化するよう強く要望いたします。

その他の質問項目

- 小児救命救急センターとして指定された八千代市にある東京女子医科大学附属八千代医療センターについて
- 千葉県流山臨時医療施設について
- CDR(チャイルド・デス・レビュー)への対応について
- 県道松戸野田線について

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105

たけだ正光 県議事務所

TEL.04-7159-0518 FAX.050-3588-8698

<https://www.takeda-hashiru.com>



たけだ正光県議 プロフィール

経 歴	
・S44 8月生まれ	・H23 2期目当選
・S57 流山市立八木南小卒業	県土整備常任委員会委員長
・S60 流山市立八木中卒業	・H25.26 環境生活警察常任委員会委員長
・S63 専修大学松戸高校卒業	・H27 3期目当選
・H4 中央大学商学部卒業	・H31 4期目当選
公認会計士	・R2 議会運営委員会 副委員長
・H19 千葉県議会議員選挙 初当選	・R3 監査委員に就任
現 職	
・自民党千葉県連青年局 相談役	
・児童虐待防止対策プロジェクトチーム座長	